

東信地区におけるスゲ属の分布

友野 増夫 (南佐久郡南牧村立南牧中学校)・
林 一六 (筑波大・菅平高原実験センター)

Masuo Tomono and Ichiroku Hayashi : Distribution of *Carex* in the eastern part of Nagano Prefecture

はじめに

スゲ属はカヤツリグサ科の中で最大の属で、全世界で約 2000 種、日本国内では約 200 種が分布し (大井 1983), 長野県植物誌 (長野県植物誌編纂委員会 1997) には 120 種と 9 変種が記載されている (2000 年補遺を含めると 122 種, 1 亜種, 9 変種)。その中で長野県東信地区に分布すると記載されている種は 93 種と 4 変種である。

東信地区は長野県東部地域を指し、図 1 に示した範囲である。この地域は、高速道路、新幹線の開通など、ここ数年の間に開発が進んでおり、耕地や河川敷、水湿地等の様子も以前とかなり異なってきている。例えば、アサマスゲについては佐久市教育会 (1988 年) をもとに分布記載地を調査したが、耕地整理が実施され以前の田の畦と様子が変わっており生育を確認することができなかった。オオカサスゲについても、川上村 1200M (長野県植物誌)、松原湖・蓼科山麓湿地 (佐久教育会 1975 年)、菅平湿原に記録があるが、生育を確認することができなかった。

また、スゲ属は花は小さく花被もなく、分類が困難で、短い花期 (果期) の間でしか正確に同定できないため、過去の植生調査の記録と現在の実状の間に差が出てきていると考えられる。

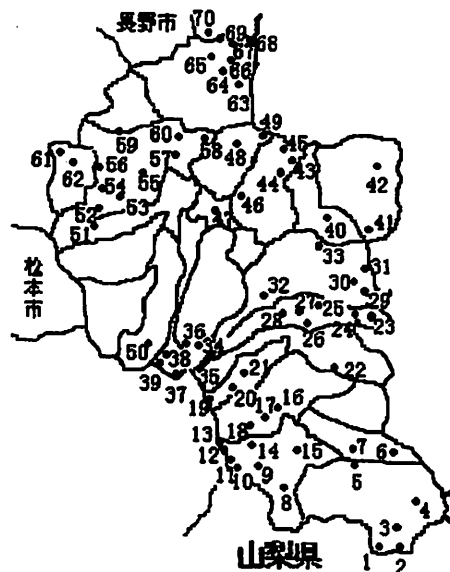


図 1. 調査地域

そこで、本年度、分類が難解であるスゲ属の分類の研修と東信地区を中心にスゲ属フロラの調査・確認を目的に研究をおこなった。

調査地の概要

調査した地点とその番号は、図 1 の 1~70 のようになる。

川上村 : 1, 金峰山 ; 2, 大弛峠 ; 3, 廻目平 ; 4, 梓山 ; 5, 天狗山。南相木村 : 6, 奥三川 ; 7, 立岩湖。南牧村 : 8, 野辺山 (矢出川湿地) ; 9-10, 杣添尾根 ; 11, 横岳 ; 12, 硫黄岳 ; 13, 夏沢峠 ; 14, 本沢温

表1. 東信地区で生育が確認されたスゲ属 (*Carex*) の種

1	アオスゲ	<i>Carex breviculmis</i> R.Br.
2	アカンスゲ	<i>Carex lasiocarpa</i> L.
3	アズマスゲ	<i>Carex lasiocarpa</i> Franch.
4	アゼスゲ	<i>Carex thunbergii</i> Steud.
5	アワボスゲ	<i>Carex brownii</i> Tuckerm.
6	イトアオスゲ	<i>Carex breviculmis</i> R.Br. f. <i>filiculmis</i> Kuhnelt
7	イトキンスゲ	<i>Carex hakodensis</i> Franch.
8	イトスゲ	<i>Carex fernaldiana</i> H. Lev. et Vant.
9	イワスゲ	<i>Carex stenantha</i> Franch. et Savat.
10	エゾハリスゲ	<i>Carex uda</i> Maxim.
11	エナシヒゴクサ	<i>Carex aphanolepis</i> Franch. et Savat.
12	オオイトスゲ	<i>Carex alterniflora</i> Franch.
13	オオカワズスゲ	<i>Carex stipata</i> Muhlent. ex Schkuhr
14	オクノカンスゲ	<i>Carex foliosissima</i> Fr. Schmidt
15	オタルスゲ	<i>Carex otariensis</i> Franch.
16	オニスゲ	<i>Carex dickinsii</i> Franch. et Savat.
17	オニナルコスゲ	<i>Carex vesicaria</i> L.
18	カサスゲ	<i>Carex dispalata</i> Boott
19	カワラスゲ	<i>Carex incisa</i> Boott
20	カンスゲ	<i>Carex morrowii</i> Boott
21	クグスゲ	<i>Carex pseudo-cyperus</i> L.
22	クモマシバスゲ	<i>Carex subumbellata</i> Meisn.
23	グレーンスゲ	<i>Carex parviflora</i> Boott
24	ゴウソ	<i>Carex maximowiczii</i> Miq.
25	コタヌキラン	<i>Carex doerflerii</i> Bockl.
26	コハリスゲ	<i>Carex hakonensis</i> Franch. et Savat.
27	サドスゲ	<i>Carex sadoensis</i> Franch.
28	サナギスゲ	<i>Carex grallatoria</i> Maxim. var. <i>heteroclitia</i> (Franch.) Kuhnelt.
29	シバスゲ	<i>Carex nervata</i> Franch. et Savat.
30	ショウジョウスゲ	<i>Carex blepharocarpa</i> Franch.
31	ジョウロウスゲ	<i>Carex capricornis</i> Meisn.
32	タガネソウ	<i>Carex siderosticta</i> Hance
33	タニガワスゲ	<i>Carex foenicula</i> Franch. et Savat.
34	タマツリスゲ	<i>Carex filipes</i> Franch. et Savat.
35	タルマイスゲ	<i>Carex buxbaumii</i> Wahlenb.
36	チョウセンゴウソ	<i>Carex maximowiczii</i> Miq. var. <i>sulphurensis</i> (Kom.) Nakai
37	チョウセンジスゲ	<i>Carex longirostrata</i> C. A. Mey. var. <i>pallida</i> (Ktag.) Ohwi
38	ツルカミカワスゲ	<i>Carex sabyensis</i> Less. var. <i>rostrata</i> (Maxim.) Ohwi
39	テギリスゲ	<i>Carex klotensis</i> Franch. et Savat.
40	ナガミヒメスゲ	<i>Carex oxyandra</i> (Franch. et Savat.) Kudo f. <i>lanceolata</i> (Kuhnelt.) Ohwi
41	ナルコスゲ	<i>Carex curvicolis</i> Franch. et Savat.
42	ニシノホンモンジスゲ	<i>Carex stenostachys</i> Franch. et Savat.
43	ニッコウハリスゲ	<i>Carex fulva</i> Franch.
44	ヌイオスゲ	<i>Carex vanheurckii</i> Mull. Arg.
45	ハリガネスゲ	<i>Carex capillacea</i> Boott
46	ヒカゲシラスゲ	<i>Carex planiculmis</i> Komar.
47	ヒカゲスゲ	<i>Carex lanceolata</i> Boott
48	ヒカゲハリスゲ	<i>Carex onoei</i> Franch. et Savat.
49	ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i> Thunb.
50	ヒナスゲ	<i>Carex grallatoria</i> Maxim.
51	ヒメカワズスゲ	<i>Carex brunnescens</i> (Pers.) Poir.
52	ヒメカンスゲ	<i>Carex conica</i> Boott
53	ヒメゴウソ	<i>Carex phacota</i> Spreng.
54	ヒメシラスゲ	<i>Carex molliscula</i> Boott
55	ヒメスゲ	<i>Carex oxyandra</i> (Franch. et Savat.) Kudo
56	ヒラギンシスゲ	<i>Carex augustiniowiczii</i> Meisn.
57	ビロードスゲ	<i>Carex fedia</i> Nees var. <i>miyabei</i> Franch.
58	ホリバオゼマズスゲ	<i>Carex nemurensis</i> Franch.
59	ホリバヒカゲスゲ	<i>Carex humilis</i> Leyss. var. <i>nana</i> (H. Lev. et Vanot) Ohwi
60	マスグサ	<i>Carex gibba</i> Wahlenb.
61	ミコシガヤ	<i>Carex neurocarpa</i> Maxim.
62	ミチノクホンモンジスゲ	<i>Carex stenostachys</i> Franch. et Savat. var. <i>cuneata</i> (Ohwi) Ohwi et T.Koyam.
63	ミノボロスゲ	<i>Carex alba</i> Boott
64	ミヤマアオスゲ	<i>Carex sachalinensis</i> Fr. Schm. var. <i>longistachya</i> Ohwi
65	ミヤマアシボリスゲ	<i>Carex scita</i> Maxim.
66	ミヤマカンスゲ	<i>Carex dolichostachya</i> Hayata var. <i>glaberrima</i> (Ohwi) T.Koyam.
67	ミヤマジュズスゲ	<i>Carex distiflora</i> Franch.
68	ミヤマシラスゲ	<i>Carex olivacea</i> Boott var. <i>angustior</i> Kuhnelt.
69	メアオスゲ	<i>Carex breviculmis</i> R.Br. f. <i>aphanandra</i> Kuhnelt.
70	ヤチカワズスゲ	<i>Carex omiana</i> Franch. et Savat.
71	ヤブスゲ	<i>Carex rochebrunii</i> Franch. et Savat.
72	ヤマアゼスゲ	<i>Carex heterolepis</i> Bunge
73	ヤワラスゲ	<i>Carex transversa</i> Boott

泉；15，海ノ口。小海町：16，松原湖周辺（ワミの谷地，稲湖，長湖）；17，稲子湯；18，みどり池。八千穂村：19，麦草峠；20，自然園；21，レイク。佐久町：22，茂来山。白田町：23，広川原・狭岩；24，田口峠；25，丸山；26，入沢；27，下越；28，稲荷山。佐久市：29，荒船不動；30，初谷川；31，荒船湖；32，大沢；33，平尾山。望月町：34，春日溪谷；35，大河原峠；36，トキンの岩。立科町：37，蓼科山山頂；38，女神湖；39，白樺湖。御代田町：40，雨池・大池。軽井沢町：41，八風山；42，白糸の滝。小諸市：43，火山館；44，浅間山登山口；45，車坂；46，布引観音。北御牧村：47，御牧ヶ原。東部町：48，横堰；49，湯の平。長門町：50，美の森。丸子町：51，鹿教湯。上田市：52，野倉；53，塩田；54，別所；55，小牧山；56，越戸；57，国分；58，岩清水；59，太郎山；60，古里。青木村：61，麻績口；62，木戸。真田町：63，角間；64，唐沢の滝；65，菅平湿原；66，

筑波大学菅平実験センター；67，大明神沢；68，四阿山；69，根子岳。須坂市：70，峰の原。

結果と考察

今回の調査で自生を確認した種を表1に検索表を表2に記載した。これまでに，67種，3変種，3品種の自生が確認された。

長野県植物誌に東信地区に分布すると記載された種のうち，64種と2変種の自生（東信地区での）を確認することができた。なお，ここではアオスゲをアオスゲ，イトアオスゲ，メアオスゲに，ゴンゲンスゲをコイトスゲとミヤマアオスゲに，ヒメスゲをヒメスゲとナガミヒメスゲに分けて記載した。イトアオスゲ，メアオスゲ，ナガミヒメスゲまで含めると，64種・2変種・3品種となる。また，新たにジョウロウスゲ（写真1）〔南牧村海ノ口〕，ミチノクホンモンジスゲ（写真2）を真田町菅平で確認した。長野県内に自生する種で東信地区では未記録であったアカンスゲ（写真3）〔川上村廻目平〕，ツルカミカワ

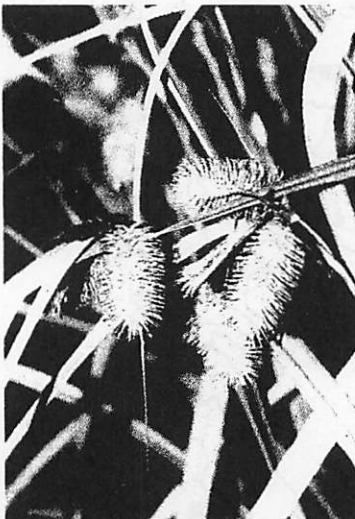


写真1. ジョウロウスゲ
（南牧村海ノ口；2000.6.25）



写真2. ミチノクホンモンジスゲ
（真田町大洞；2000.5.22）

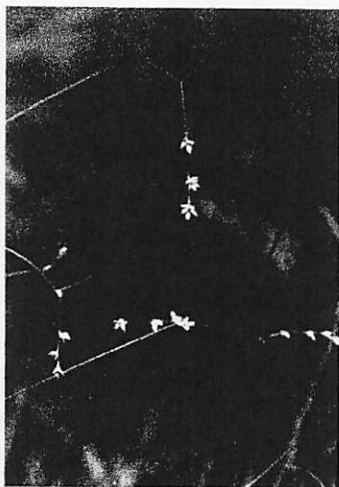


写真3. アカンスゲ
(川上村廻目平; 2000.7.6)

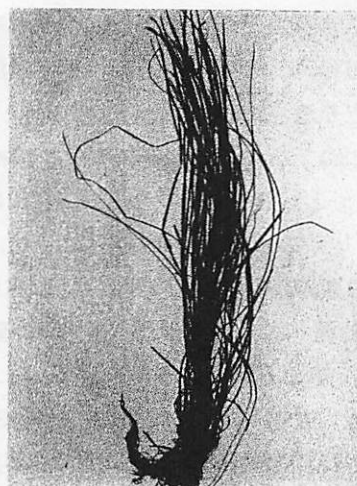


写真4. ツルカミカワスゲ
(南牧村矢出川; 2000.6.11)

スゲ(写真4)〔南牧村野辺山、小海町松原湖〕を確認することができた。全て合わせると今回東信地区で確認することができたスゲ属は、67種・3変種・3品種となった。

環境庁版植物レッドデータブックに記載されている7種の自生の確認

IA 類: クグスゲ(御代田町雨池、大池)。
IB 類: タルマイスゲ(南牧村矢出川湿地)。
ジョウロウスゲ(南牧村海ノ口休耕田内)。
II 類: アカンスゲ(川上村廻目平～大弛峠の林道脇水湿地)。
ホソバオゼヌマスゲ(小海町ワミの谷地、立科町蓼科山麓水湿地、女神湖)。
エゾハリスゲ(小海町ワミの谷地)。
ヌイオスゲ(南牧村硫黄岳～横岳の稜線)。

ニシノホンモンジスゲとオオイトスゲの分布の境界とミチノクホンモンジスゲの分布

ニシノホンモンジスゲは、東部では上田市太郎山から真田町菅平口まで自生しているが、神川を境に真田町角間溪谷では、オオイトス

ゲに変わり自生を確認することができなかった。西部では、青木村木戸で両種が混生しているのを確認した。両種の分布の境界は、青木村と真田町にありそうである。また、先にも記したが、ニシノホンモンジスゲの匍匐枝の出る変種とされているコシノホンモンジスゲが真田町菅平でニシノホンモンジスゲと混生していることを確認した(図2)。



図2. ●ニシノホンモンジスゲ, ■オオイトスゲ, ○ミチノクホンモンジスゲの分布

ヒナスゲとサナギスゲの分布

長野県植物誌には、両種とも分布地が県南部と記載されている。南佐久郡誌自然編（1994年）には、東部山地に自生が記録されている。東部山地は関東地方の気候の影響を受けている地域であり、その影響であろうと考えた。今回の調査で西部八ヶ岳山麓である小海町稲子、望月町春日溪谷で自生を確認することができた。ヒナスゲ、サナギスゲともより広範囲に分布している可能性が高い（図3）。

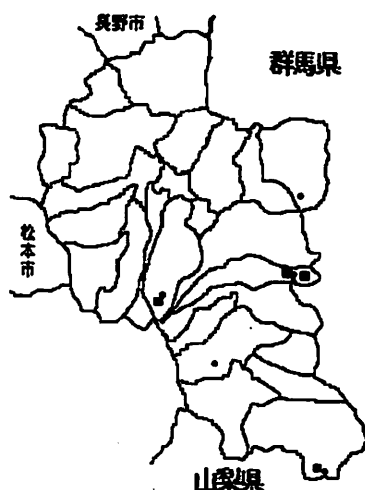


図3. ●サナギスゲと■ヒナスゲの分布

検索表の作成

東信地区に自生が記載されている種について大井次三郎氏の新日本植物誌の検索表を参考に検索表を作成した（表2）。また、稈の高さ・葉幅・葉の特徴・稈基部鞘の特徴・匍匐枝の有無・主な生育地を表形式にした表3～6を載せた。林内・草原の表を例にとると、稈の高さ70cm以上であれば、ミヤマジュズスゲ、ハタベスゲ等の9種に絞り込むことが

できる。葉幅でいくと、葉幅9mm以上であれば、ヒカゲシラスゲ、シラスゲ等7種に絞り込むことが可能である。最終的な同定には確実な決め手とはなりにくい、種の絞り込みという点ではこの特徴表は有効に利用できると考える。

表2. 長野東信地区のスゲ属検索表

- A. 小穂は1個頂生。
 - B. 雌雄異株
 - ・・・ヒナスゲ *Carex grallatoria* Maxim.
 - B. 雌雄同株。
 - C. 小穂は球形、卵形、楕円形。雄花部が目立たない。
 - D. 葉は幅1mm以内。果胞の長さは2mm前後。果胞はほとんど脈がない。
 - ・・・コハリスゲ *Carex hakonensis* Franch. et Savat.
 - D. 葉は幅1mm以上。果胞は長さ2mm以上。
 - E. 小穂は長さ3～6mm、果胞は扁3稜形、長さ2.5～3mm。
 - ・・・ヒカゲハリスゲ *Carex onoei* Franch. et Savat.
 - E. 小穂は長さ5～9mm。果胞はふくらんだ3稜形。
 - F. 果胞は卵円形、長さ2～2.5mm、開出するか熟しても反曲しない。
 - ・・・ニッコウハリスゲ *Carex julia* Franch.
 - F. 果胞は卵状披針形、長さ3～3.5mm、熟すと反曲し、上方はやや長い嘴となる。
 - ・・・エゾハリスゲ *Carex uda* Maxim.
 - C. 小穂は棒状・円柱形・長楕円形。雄花部が目立つ。
 - D. 高山帯の草地・岩礫地に生える。
 - E. 葉は糸状幅1～2mm。果胞は長さ4～5.5mm、鱗片よりやや長く、熟すと開出する。高山帯の乾燥地。
 - ・・・キンスゲ *Carex pyrenaica* Wahlenb.
 - E. 葉は幅1.5～3mm。果胞は長さ6～8mm、鱗片の2倍長で、熟しても開出しない。高山帯の湿った草地

- 斜面。・・・イトキンスゲ *Carex hakkodensis* Franch.
- D. 低地〜山間の湿地、林下に生える。
- E. やや乾燥した林床や岩上に生える。上部の雄花部は目立たず1〜3花をつける。雌花部もまばらに5〜6の花をつける。・・・サナギスゲ *Carex grallatoria* Maxim. var. *heteroclita* (Franch.) Kuhnelt
- E. 溪側や湿地に生える。
- F. 溪側に生え、小穂はややまばらに花をつける。果胞は長さ5〜6mm、小穂は長さ1.5〜4cm、・・・シラコスゲ *Carex rhizopoda* Maxim.
- F. 湿地に生え、小穂はやや密に花をつける。果胞は長さ1.5〜3mm、小穂は長さ0.5〜2cm、
- G. 小穂は長さ10〜20mm、果胞は長さ1.5〜2mm、卵球形でほとんど嘴がない。葉幅1.5mm、・・・マツバスケ *Carex biwensis* Franch.
- G. 小穂は長さ5〜10mm、果胞は長さ2.5〜3mm、広卵形で嘴は短い。葉幅約1mm、・・・ハリガネスケ *Carex capillacea* Boott
- A. 小穂は2個以上。
- B. 小穂は両性。小穂または梗の基部に前葉がない。
- C. 雄花部は小穂の先端に、雌花部は小穂の基部にある。柱頭は2個。
- D. 匍匐枝を出す。稈は高さ20〜40cm、小穂はさび色または赤褐色。果胞は長さ4〜5mm、低山帯の草地。・・・アサマスゲ *Carex lithophila* Turcz.
- D. 匍匐枝を出さない。
- E. 花序の苞は数個葉状に発達し四方にのびる。湿った草原や田の畦などに生える。・・・ミコシガヤ *Carex neurocarpa* Maxim.
- E. 花序の苞は普通1個だけ葉状に発達する。
- F. 葉は柔らかく幅4〜6mm、小舌の前面は葉身の基部より高い。湿地に生える。・・・オオカワズスケ *Carex stipata* Muhlenb. ex Schkuhr
- F. 葉は硬く幅2〜3mm、小舌の前面は葉身の基部より高くない。山地の路傍、草地に生える。・・・ミノボロスゲ *Carex albata* Boott
- C. 雌花部は小穂の先端に、雄花部は小穂の基部にある。
- D. 柱頭は3個。葉は稈上に互生する。・・・マスクサ *Carex gibba* Wahlenb.
- D. 柱頭は2個。
- E. 果胞に翼と長い嘴があり、口部は歯状。
- F. 果胞は熟して反曲する。湿地に生える。・・・ヤチカワズスケ *Carex omiana* Franch. et Savat.
- F. 果胞は熟しても直立または斜上する。林内、林縁に生える。
- G. 花序の苞は伸長して葉状となる。
- H. 最下の苞は最も長く葉状。
- I. 小穂は8〜10個。果胞は披針形、長さ4〜4.5mm、葉幅は2〜4mm、・・・ヤブスケ *Carex rochebrunii* Franch. et Savat.
- I. 小穂は2〜5個。果胞は広楕円形、長さ4mm、葉幅は1.5〜2.5mm、・・・タカネマスグサ *Carex planata* Franch. et Savat.
- H. 最下の苞は棘針状。・・・ホスゲ *Carex deweyana* Schwein. var. *senanensis* (Ohwi) T. Koyama
- G. 花序の苞は発達せず目立たない。・・・ヤガミスゲ *Carex maackii* Maxim.
- E. 果胞はほとんど嘴がなく翼もない。
- F. 雌花鱗片は淡緑色。
- G. 果胞の嘴は短いかわらで、前面は裂開し口部に小歯牙がある。・・・ヒメカワズスケ *Carex brunescens* (Pers.) Poir.
- G. 果胞に嘴がなく、口部は全縁。・・・アカンスゲ *Carex loliacea* L.
- F. 雌花鱗片は栗色。湿地に生える。・・・ホソバオセヌマスゲ *Carex nemurensis* Franch.
- B. 小穂は単性、希に両生。小穂または梗の基部に前葉がある。
- C. 柱頭は2個。果はレンズ形。
- D. 柱頭は赤褐色で細く長く果時にも残る。・・・サドスケ *Carex sadoensis* Franch.
- D. 柱頭は果よりも明らかに短く花後落脱する。
- E. 果胞の縁がざらつつか突起がある。
- F. 小穂は長柄があり下垂する。基部の鞘は赤紫色または血赤色を帯びる。果胞は楕円形〜卵形、長い嘴の先は深く2裂する。柱頭は果時にも残る。山地の乾いた岩上や草地に生える。・・・コタヌキラン *Carex doeritzi* Bockl.

- F. 小穂の柄は短く直立する。基部の鞘は濃褐色を帯びる。山地の溪側に生える。
 ...タニガワスゲ *Carex forcifula* Franch. et Savat.
- E. 果胞は平滑。
- F. 基部の鞘は淡色または肉桂色。稜がなく丸く、糸網もない。
- G. 稈は高さ20~40cm。葉は幅3~6mm。側小穂は紐状。 ...カワラスゲ *Carex incisa* Boott
- G. 稈は高さ40~80cm。葉は幅5~10mm。側小穂は円柱形。
 ...アズマナルコ *Carex shimidzensis* Franch.
- F. 基部の鞘は褐色または一部赤紫色を帯びる。前面に糸網がつき背面に稜がある。
- G. 根茎は地下に長い匍匐枝がある。基部の鞘は帯紫褐色~帯黄褐色。葉身がある。
 小穂は直立する。湖畔、湿地、田の畦に生える。
- H. 果胞口部は全縁。葉の辺縁は乾くと内曲する。 ...アゼスゲ *Carex thunbergii* Steud.
- H. 果胞口部は短い嘴があり2歯がある。葉縁は乾くと外曲する。
 ...ヤマアゼスゲ *Carex heterolepis* Bunge
- G. 根茎は地下に匍匐枝がなく株をつくる。
- H. 頂小穂は雌雄性。側小穂は雌性または基部に短い雄花部がつく。果胞に乳頭状突起を密生する。
 ...アゼナルコ *Carex dimorpholepis* Steud.
- H. 頂小穂は雄性。
- I. 果胞に乳頭状突起を密生する。
- J. 側小穂は六角柱状形。
- K. 果胞は長さ4mm前後。 ...ゴウソ *Carex maximowiczii* Miq.
- K. 果胞は長さ3~3.5mm。
 ...チョウセンゴウソ *Carex maximowiczii* Miq. var. *suifmensis* (Kom) Nakai
- J. 側小穂は円柱形。全体粉緑色。乾いても粉緑色。 ...ヒメゴウソ *Carex phacota* Spreng.
- I. 果胞に乳頭状突起がない。側小穂は長円柱形。
- J. 鞘は一部紅色帯びる。果胞に明らかな嘴(0.3~1mm)があり、ふくらまず果をきつく包む。
 小穂は淡緑色。 ...オタルスゲ *Carex otaruensis* Franch.
- J. 鞘は濃褐色~褐色で紅色を帯びない。果胞は急に短い嘴で終わる。少しふくらみ、果をゆるく包む。小穂は熟して淡い褐色。
- K. 稈 葉はざらつく。 ...テキリスゲ *Carex kiotensis* Franch et Savat.
- K. 稈 葉は平滑。 ...ヤマテキリスゲ *Carex flabellata* H. Lev. et Vaniot
- C. 柱頭は3個。果は3稜形。
- D. 花弁は円錐状。 ...アブラシバ *Carex satsumensis* Franch. et Savat.
- D. 花弁は総状。
- E. 果胞口部は膜質の2歯があるか全縁。
- F. 苞に鞘が無い。
- G. 果胞は有毛。
- H. 頂小穂は雄生で長さ10~20mm。側小穂と離れ目立つ。果胞は2個の中肋をのぞき無脈、まばらに毛がある。高山の草地に生える。 ...ヌイオスゲ *Carex vanheurckii* Mull. Arg.
- H. 頂小穂は雄生で長さ0.5~0.8mm。側小穂とつながり目立たない。
- I. 基部の鞘は濃赤褐色。雌雄鱗片は暗赤紫色。
- J. 果胞は倒卵形、長さ2.5~3.5mm。嘴は短い。
 ...ヒメスゲ *Carex oxyandra* (Franch. et Savat) Kudo.
- J. 果胞は広披針形、長さ4~5mm。嘴は長く1.5~2mm。
 ...ナガミヒメスゲ *Carex oxyandra* (Franch. et Savat) form. *lanceolata* (Kukenth) Ohwi
- I. 基部の鞘および雌雄鱗片は淡黄褐色。 ...タテシナヒメスゲ *Carex chinoi* Ohwi et T. Koyama
- G. 果胞は無毛。
- H. 果胞は帯灰色で乳頭状突起を密生する。
- I. 雌小穂は長い柄があり下垂する。最下の苞は棘状。雌小穂は1~2個。鱗片は卵形。果胞は長さ3.5~4mm。 ...ヤチスゲ *Carex limosa* L.
- I. 雌小穂の柄は短く直立する。
- J. 匍匐枝がなく大きな株をつくる。基部の鞘は栗褐色。
 ...シラカワスゲ *Carex meyeriana* Kunth.
- J. 長い匍匐枝がある。基部の鞘は赤紫色。 ...タルマイスゲ *Carex buxbaumii* Wahlenb.

- H. 果胞は灰色を帯びず、乳頭状突起がない。
- I. 果胞は扁平または扁3稜形、ゆるく果を包む。
- J. 果胞は扁3稜形。雌鱗片は鈍頭長さ1~1.5mm。
- K. 果胞は鱗片よりやや長く卵形~卵状披針形。
-ヒラギシスゲ *Carex augustiowiczii* Meinsh.
- K. 果胞は鱗片の約3倍長く披針形。.....ナルコスゲ *Carex curvicolis* Franch. et Savat.
- J. 果胞は扁平。雌鱗片は鋭頭~尖鋭頭長さ2~2.5mm。高山の草原や岩礫地に生える。
- K. 鞘は肉桂色。小穂は全て雌性。各小穂の基部に短く雄花部がある。
-キンチャクスゲ *Carex mertensii* Presc. ex Bong. var. *urostachys* (Franch.) Kükenth.
- K. 鞘は前赤紫色。頂小穂は雄性。側小穂は雌性。
- L. 果胞は平滑。.....ミヤマクロスゲ *Carex flavocuspis* Franch. et Savat.
- L. 果胞は縁に小凹棘がある。.....ミヤマアシボソスゲ *Carex scita* Maxim.
- I. 果胞は扁平にならない。
- J. 果胞は乾くと褐色または黒色に変わる。湿地に生える。
- K. 果胞は長さ10~12mm。.....ウマスゲ *Carex iduroei* Franch. et Savat.
- K. 果胞は長さ3~4mm。
- L. 基部の鞘は淡色。雌鱗片に芒があり、果胞はふくらんでゆるく果を包む。葉の裏面は粉白緑色。.....ミヤマシラスゲ *Carex olivacea* Boott var. *angustior* Kükenth.
- L. 基部の鞘が暗赤褐色。雌鱗片に芒がなく、果胞は固く果を包む。葉裏面は白色を帯びない。.....カサスゲ *Carex dispalata* Boott.
- J. 果胞は乾いても淡緑色~緑色。林内や路肩に生える。稈の基部は淡色~淡緑色で暗赤褐色の部分はない。頂小穂は雄性で線形。
- K. 側小穂は長さ1.5~3cm。長楕円形~短円柱形。稈は高さ40cm以下。
- L. 小穂は間隔をおいて稈につく。葉は幅2~4mmで裏面は粉白色を帯びる。
- M. 側小穂に柄がある。果胞は長卵形で長さ3.5~4mm、長い嘴がある。
-ヒゴクサ *Carex japonica* Thunb.
- M. 側小穂に柄がない。果胞は楕円形で長さ3mm、嘴は短い。
-エナシヒゴクサ *Carex aphanolepis* Franch. et Savat.
- L. 小穂は稈頂に集まる。葉は幅4~8mmで両面とも緑色。
-ヒメシラスゲ *Carex mollicula* Boott.
- K. 側小穂は長さ3~7cm、長柱形。稈は高さ30~70cm。
- L. 葉の裏面は粉白色を帯びる。果胞は長さ3mm。.....シラスゲ *Carex doniana* Spreng.
- L. 葉は両面緑色。果胞は長さ3.5~4mm。.....ヒカゲシラスゲ *Carex planiculmis* Komar.
- F. 少なくとも最下の苞に鞘がある。
- G. 果の先端に付属体がつく。
- H. 果胞は大きく長さ5~7mm。付属体は不明瞭。葉は幅2~3mm。
-チュウゼンシスゲ *Carex longirostrata* C. A. Mey. var. *pallida* (Kitag.) Ohwi
- H. 果胞は長さ2~4mm。果の先端に円錐状または僧帽状の付属体をつける。
- I. 最下の苞の鞘は短い(3mm前後)。雌小穂は長楕円形~披針形。
- J. 雄鱗片は淡緑色である。
- K. 果胞は有毛。
- L. 稈は高さ10~30cm。最下の苞は葉状。
- M. 葉は幅2~4mm。果胞は長さ1.5~3mm。果付属体の基部は円錐形に肥厚。
-アオスゲ *Carex breviculmis* R.Br.
- M. 葉は幅1~2mm。果胞は長さ1.5mm。果付属体の基部は杯形に肥厚。
-イトアオスゲ *Carex breviculmis* R. Br. form. *filiculmis* Kükenth.
- L. 稈は高さ5cm前後。最下の苞は芒状。
-メアオスゲ *Carex breviculmis* R.Br. form. *aphanandra* Kükenth.
- K. 果胞は無毛。
- L. 最下の雌小穂も稈の中部より上にある。全草乾くと暗緑色となる。
-クサスゲ *Carex rugata* Ohwi
- L. 最下の雌小穂は根生状。乾いても鮮緑色。.....ハガクレスゲ *Carex jacens* C. B. Clarke
- J. 雄鱗片は帯黄褐色である。

- K. 稈は高さ20~50cm。葉は伸長する。稈基部の鞘は褐色の縦の繊維に分解する。側小穂は無柄。
 ...ツルカミカワスゲ *Carex sabyensis* Less. var. *rostrata* (Maxim.) Ohwi
- K. 稈は高さ10~30cm。葉はやや短い。稈基部の鞘は淡褐色。やや繊維に分解する。側小穂は有柄。
 L. 地下に匍匐枝がある。日当たりのよい乾いた草地に生える。
 ...シバスゲ *Carex nervata* Franch. et Savat
- L. 匍匐枝がない。高山帯の草地に生える。
 ...クモマシバスゲ *Carex subumbellata* Meisn.
- I. 最下の苞の鞘は長い(5mm以上)。雌小穂は円柱形。
 J. 葉は細く糸状で幅は1mm以内。
 K. 葉は幅0.2~0.4mm。最下の苞の葉身は線状で短く2~7mm。
 ...ハコネイトスゲ *Carex hakonemontana* Katsuyama
- K. 葉は幅0.3~1mm。最下の苞は葉状。小穂より長い。
 ...イトスゲ *Carex fernaldiana* Hlev. et Vant
- J. 葉は幅2mm以上。
 K. 葉は幅2~3mm。革質ではない。
 L. 稈基部の鞘は淡色~淡黄褐色。
 M. 最下の苞の葉身は小穂より長い。稈基部の鞘は白色で光沢がある。雄小穂は淡色。
 稈の高さ30~50cm。...オオイトスゲ *Carex alterniflora* Franch.
- M. 最下の苞の葉身は小穂より短い。稈は高さ15~30cm。
 ...ミヤマアオスゲ *Carex sachalinensis* Fr. Schm. var. *longiuscula* Ohwi
- L. 稈基部の鞘は栗褐色~黒褐色。稈基部の鞘は栗褐色で繊維に分解せず光沢がある。雌鱗片は円頭凸端帯褐色。
 M. 匍匐枝を出さない。...ニシノホンモンジスゲ *Carex stenostachys* Franch. et Savat
- M. 短い匍匐枝を出す。...ミチノクホンモンズスゲ *Carex stenostachys* (Fr. et Sav.)
 var. *cuneata* (Ohwi) Ohwi et T. Koyama
- K. 葉は幅3~20mm。厚くてやや硬い。
 L. 稈基部の鞘は濃褐色の繊維に分解する。...ヒメカンスゲ *Carex corica* Boott
- L. 稈基部の鞘は暗栗褐色~帯褐赤紫色でほとんど繊維に分解しない。
 M. 稈基部の鞘は帯褐赤紫色で光沢がある。雄鱗片は凸頭。果胞は熟しても直立する。葉は鮮緑色で厚いがしななしている。...ミヤマカンスゲ *Carex dolichostachya* Hayata
 var. *glaberrima* (Ohwi) T. Koyama
- M. 稈基部の鞘は暗栗褐色~帯赤暗褐色で光沢はない。雄鱗片は凸頭~急凸頭短芒端。果胞は熟して開出する。葉は厚く硬い。
 N. 匍匐枝を出す。葉は2肋がありM字形。新梢の鞘は長くのび黒紫色になる。
 ...オクノカンスゲ *Carex foliosissima* Fr. Schmidt
- N. 匍匐枝を出さない。葉は1肋でV字形。新梢の鞘は長くのびない。
 O. 葉は幅5~10mm。...カンスゲ *Carex morrowii* Boott
- O. 葉は幅3~5mm。
 ...ホソバカンスゲ *Carex morrowii* Boott var. *tennolepis* (Franch.) Ohwi
- G. 果に付属体がつかない。
 H. 葉は披針形で幅10~30mm。...タガネソウ *Carex siderosticta* Hance
- H. 葉は線形糸状。幅10mm以下。
 I. 果胞は扁平3稜形。
 J. 稈の上端および小穂は下垂する。頂小穂は雄性。葉は幅2~3mm。扁平。側小穂は狭円柱形。長さ2~3cm。高山の岩礫地に生える。...イワスゲ *Carex stenantha* Franch. et Savat
- J. 稈および小穂は直立する。
 K. 側小穂は雄雌性。束状に1~3個つく。葉は幅3~5mm。非常にざらつく。林内に生える。
 ...コカンスゲ *Carex reinii* Franch. et Savat
- K. 側小穂は雌性。葉は幅2~4mm。山地や高山の岩場、草地に生える。
 L. 果胞の喙は短い。...ショウジョウスゲ *Carex blepharicarpa* Franch.
- L. 果胞の喙は長く果胞の半分以上。ツクバスゲ *Carex blepharicarpa* var. *hirtifructus* (Kukenth.)
- I. 果胞は扁平にならない。

- J. 果胞は有毛。
 K. まばらに叢生する。葉は幅3~5mm。稈は糸状で、下部の小穂は根生状となる。鱗片は褐赤色。全体に開出する柔毛がある。・・・アズマスゲ *Carex lasiolepis* Franch.
 K. 密に叢生し、稈基部の鞘は赤褐色繊維に分解する。葉は幅0.5~2mm。
 L. 葉は幅1.5~2mm。稈は高さ10cm以上。・・・ヒカゲスゲ *Carex lanceolata* Boott
 L. 葉は幅0.5~1.5mm。稈は高さ3~6cm。葉間に隠れる。
 ...ホソバヒカゲスゲ *Carex humilis* Leyss. var. *nana* (H. Lev. et Variot) Ohwi
- J. 果胞は無毛。
 K. 側小穂は雄雌性。果胞は長さ9~11mm。上部の小穂は果胞の中から出る。
 ...ミヤマジュズスゲ *Carex dissitiflora* Franch.
 K. 側小穂は雌性まれに雄雌性。果胞は長さ6mm以下。
 L. 果胞は脈がないかあっても顕著でない。乾いても汚暗褐色を帯びない。
 M. 稈基部の鞘は淡色または淡黄色。
 N. 稈は高さ50~70cm。葉は幅5~10mm。果胞は長さ4~4.5mm。湿地や湿った林内に生える。
 ...グレースゲ *Carex parviflora* Boott
 N. 稈は高さ15~30cm。葉は幅3~7mm。葉は白色を帯び、果胞は長さ5~8mm。低山帯の湿った林内に生える。
 ...コジュズスゲ *Carex parviflora* Boott var. *macroglossa* (Franch. et Savat.) Ohwi
 M. 稈基部の鞘は帯赤紫色。
 N. 匍匐枝がある。・・・クジュウツリスゲ *Carex kujuzana* Ohwi
 N. 匍匐枝がない。・・・タマツリス *Carex filipes* Franch. et Savat.
 L. 果胞は明らかな脈があり、乾くと汚暗褐色を帯びる。稈基部の鞘は一部帯暗血色~濃赤紫色。
 M. 鱗片は無芒。果胞はやや直立する。・・・ジュズスゲ *Carex ischnostachya* Steud.
 M. 鱗片は有芒。果胞は熟して開出する。
 N. 果胞の嘴は長く、鱗片の芒より長い。・・・ヤワラスゲ *Carex transversa* Boott
 N. 果胞の嘴は短く、鱗片の芒より短い。・・・アワボスゲ *Carex brownii* Tuckerm.
- E. 果胞口部は硬化し鋭く2裂するか2歯牙がある。湿地に生える(例外:ピロードスゲ、ハタベスゲ)。
 F. 植物体または果胞は有毛。
 G. 茎、葉、葉鞘に開出毛がある。頂小穂は雄生。側小穂は雌性。下部のものは柄がつき、その苞に長い鞘がある。山中草地に生える。・・・ハタベスゲ *Carex latissquamea* Kom.
 G. 葉は無毛。上方の2~3個の小穂は雄性。側小穂の苞に鞘がない。果胞に灰色毛を密生する。
 田の畦、路肩、河原の砂地に生える。
 ...ピロードスゲ *Carex fedia* Nees var. *miyabei* (Franch.) T. Koyama
- F. 植物体、果胞はともに無毛。
 G. 果胞は披針形で多脈。
 H. 小穂の苞は全て鞘がある。果胞は長さ10~13mm。雌小穂は卵球形で5~7個の少花。
 ...ミタケスゲ *Carex michauxiana* Bockl. var. *asiatica* (Hulten) Ohwi
 H. 小穂の苞は最下のものを除き鞘がない。果胞長さ4~9mm。側小穂は長楕円形~円柱形で多数花をつけ、柄があり下垂する。
 I. 側小穂は円柱形、長さ2.5~5cm、径6~8mm。果胞は長さ4~5mm。嘴は直立する。
 ...クグスゲ *Carex pseudo-cyperus* L.
 I. 側小穂は長楕円形、長さ1.5~3cm、径15mm。果胞は長さ7~9mm。嘴は長く湾曲する。
 ...ジョウロウスゲ *Carex capricornis* Meinsh.
- G. 果胞は広卵形または広倒卵形、ふくらみ、光沢があり、ゆるく果を包む。
 H. 稈基部の鞘は淡色。頂小穂は雄性。他の側小穂は雌性で卵形~長楕円形で長さ1~2cm。果胞は長さ10mm。嘴は細く長い。・・・オニスゲ *Carex dickinsii* Franch. et Savat.
 H. 稈基部の鞘は一部暗血赤色~血紫色を帯びる。上部の3~7個は雄小穂。雌小穂は短円柱形~円柱形で長さ3~10cm。
 I. 茎は硬く、稈はざらつく。葉は幅3~6mm。雌小穂は長さ3~5cm。果胞は長さ6~8mm。熟して斜上する。・・・オニナルコスゲ *Carex vesicaria* L.
 I. 茎は太く平滑。葉は幅8~15mm。雌小穂は長さ5~10cm。果胞は長さ5~6mm。熟して開出する。
 ...オオカサスゲ *Carex rhynchophysa* C. A. Mey.

表 3. 林内・草原のスケ

和名	高さ (cm)							葉幅 (mm)										葉の特徴	葉の色	初 枝	生育地	
	10	20	30	40	50	60	70	80	1	2	3	4	5	6	7	8	9					10
ミヤマジュズスグ																			鮮緑色	淡色後黒色繊維に分解	有	林内
ハタベスグ																			有毛	淡褐色、有毛、無葉片	有	草地
ヒカゲシラスグ																			鮮緑色	淡色	有	林内
シラスグ																			裏面粉白色	淡色、やや繊維に分解	有	林内
アゼナルコ																			淡緑色	暗褐色内巻色、無葉身、赤毛	無	超草原
グリーンズグ																			粉緑色、やわらかい	淡色	無	超草原
テクリスグ																			緑色、ざらつく	淡褐色、無葉身、赤毛	無	超草原
ヤマテクリスグ																			緑色	淡褐色、無葉身、赤毛	無	超草原
クジュウツリスグ																			暗赤紫色	有	草原	
アワボスグ																			淡緑色	暗赤紫色、無葉身	無	半日陰草地
マスクサ																			緑色	淡色	無	草原
ジュズスグ																			淡緑色	暗赤色、無葉身	無	路傍、疎林地
コカンスグ																			深緑色、硬くざらつく	暗褐色繊維に分解	有	林内
ビロードスグ																			緑色	赤紫色硬く光沢がある	有	草地
ミノボロスグ																			淡緑色	淡色	無	路傍、草地、湿地
ミコシガヤ																			淡緑色、鮮色の小斑点	淡色	無	草地
ミヤマカンスグ																			暗赤色硬くざらつく	暗赤紫色で光沢がある	有	林内
ヤワラスグ																			淡緑色	暗赤紫色	無	半日陰草地
タマワリスグ																			粉緑色	暗赤紫色	無	林内、草地
ヒメカンスグ																			暗褐色、光沢なく硬い	暗褐色繊維に分解する	有	林内
ヤブスグ																			緑色	淡色	有	林内、草原
ニシノキモンシスグ																			淡緑色	暗赤褐色硬く全縁	無	林内
ミナノキモンシスグ																			淡緑色	暗赤褐色硬く全縁	無	林内
オオイトスグ																			緑色	淡色、白色	有	林内
タカネマスグ																			淡緑色	淡色	無	林内、草地
ツルカミカワスグ																			淡緑色	暗褐色繊維に分解	有	草地
ショウジョウスグ																			緑色	栗色 or 褐色繊維に分解	無	岩上、高山
タガネソウ																			披針形、淡緑色、有毛	淡色	有	林内
オクノカンスグ																			淡緑色、硬く M 字形	暗褐色光沢がない	有	林内
カンスグ																			硬く光沢ありざらつく、V 字形	暗赤褐色	無	林内
カワラスグ																			緑色	暗褐色なく、赤毛もない	有	路傍、疎林地
ホソバカンスグ																			硬く光沢ありざらつく、V 字形	暗赤褐色	無	林内
アオスグ																			緑色	淡色	無	林内、草地
ヒゴクサ																			裏面粉白色	淡色	有	林内
エナシヒゴクサ																			裏面粉白色	淡色	有	林内
ニッコウハリスグ																			緑色	淡色	無	林内湿地
チュウゼンズグ																			淡緑色	暗褐色繊維に分解	有	林内
アサマスグ																			淡緑色	暗褐色繊維に分解	有	草地
ヒカグスグ																			緑色	赤褐色の繊維に分解	無	疎林地、草地
ヒメシラスグ																			淡緑色	淡色	有	林内
コジュズスグ																			粉緑色	淡色	無	水湿の草原
ヒカゲハリスグ																			緑色	淡色	無	林内水湿地
ミヤマオスグ																			淡緑色	淡色	有	高山山林内
クサスグ																			緑色	淡色、乾くと黒変	無	林内
アブラシバ																			緑色	淡色	有	山中草地
シバスグ																			緑色	茶褐色の繊維に分解	有	日当たりよい草地
ヒメスグ																			緑色	赤褐色、赤毛、やや繊維に分解	有	山地の草地
イトスグ																			緑色	淡色	有	林内
ハコネイトスグ																			緑色	淡色	有	林内
サナギスグ																			緑色	赤褐色	有	林内
ヒナスグ																			緑色	赤褐色	有	林内
コハリスグ																			緑色葉は内巻	淡色	無	林内水湿の斜面
アズマスグ																			淡緑色葉は軟毛	淡色 1 部暗赤色、有毛	無	山地、乾草原
ハガクレスグ																			緑色	淡色	無	針葉樹林内
ホソバヒカグスグ																			緑色	赤褐色の繊維に分解	無	疎林地、草原
メアオスグ																			緑色	淡色	無	山地路傍、岩上

スゲ属稈基部鞘の色の簡略な記載

スゲ属の稈基部の鞘や鱗片の色が種を分ける重要な形質として検索表に記載されている。稈基部の鞘の色だけとっても20に近い色の記載がある。人の目が色を識別能力は高く微妙な違いを正確に表記した先達の偉大な分類学者の能力と努力に敬服するが、その色のイメージを頭に浮かべることはできても、実際にどの色かを分けることは難しい。そこで、財団法人日本色彩研究所監修の配色カード129aを基準にスゲ属の稈基部の鞘の色を表記を試みた。

暗血紫褐色、赤紫色、濃赤紫色、暗赤紫色、赤紫色、赤褐色、濃褐色→dk24。濃赤色、血赤色→dp24。濃褐色→g4。暗褐色→dk4。栗褐色、茶褐色→dk6。暗栗褐色、褐赤紫色→dk2。黄褐色→ltg4。淡色、灰緑色→lig6, p8。肉桂色→p6。大井次三郎氏の新日本植物誌の記述と作製した標本を照らし合わせながら、最も近い色で表してみた。今回は、配色カードと比較したものが乾燥標本であり、フレッシュな状態と色の違いが出てしまっていることが考えられるが、スゲ属分類の基準表記の一つとして有効かどうか引き続き検討していきたい。

表4. 水湿地のスゲ

和名	高さ (cm)							葉幅 (mm)										葉の特徴	鞘の色	習性	生育地
	10	20	30	40	50	60	70	80	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
オオカサスゲ																		葉幅8~15mm, 狭い。	暗血赤色	有	湿地、河川
カサスゲ																		緑色	暗赤紫色、赤毛	有	湿地、河川
オニナリコスゲ																		緑色、葉幅3~6mm。	血赤色、赤毛	有	湿地、河川
ミヤマシラスゲ																		裏面粉白色、柔らかい	淡色	有	山地の水湿地
アゼナルコ																		緑色	肉桂色、葉がなくて、赤毛はない	無	山地、水湿斜面
グレンスゲ																		粉緑色、柔らかい	淡色	無	水湿草原
アゼナルコ																		緑色	暗肉桂色、赤毛	無	水湿草原
アキリスゲ																		緑色、ざらつく	濃赤色、無葉身、赤毛	無	水湿草原
クダスゲ																		緑色、狭い	淡色	無	水湿地、河川
ジョウロウスゲ																		緑色、狭い	外の鞘は無葉で暗赤褐色	無	水湿地
アゼスゲ																		花弁色をもち、辺縁は内曲	淡色、赤毛、1部暗褐色、赤毛	有	水湿地、河川
サドスゲ																		緑色、柔らかい	有葉、暗褐色、葉がなくて	有	山地溪谷に群生
クマスゲ																		やや厚く、柔らかい	淡色、1部暗赤褐色	有	水湿地、河川
ゴケソ																		緑色	肉桂色、無葉身	有	水辺、湿地
ヒメゴケソ																		粉緑色	無葉身、褐色、赤毛	無	湿地
オオカワズスゲ																		鮮緑色、柔らかい	淡色	無	湿地、水湿斜面
ヤマアゼスゲ																		緑色、辺縁は外曲	無葉身、黄褐色、赤毛	有	湿地、河川
オタルスゲ																		緑色	無葉身、1部紅色、赤毛	無	溪側、湿斜面
ホソバオゼヌマスゲ																		濃緑色、辺縁粗状	栗褐色	無	河川、水湿地
オニスゲ																		緑色、やや狭い	淡色	有	水湿地
ミケケスゲ																		緑色、やや狭い	淡色、繊維に分解	無	高層草原
ヒラギシスゲ																		緑色、柔らかい	黒色、外側短く栗褐色	有	溪側、浸潤岩上
タニガワズスゲ																		濃緑色	濃褐色、無葉身、赤毛	無	溪側、水辺
シラコスゲ																		鮮緑色、柔らかい	淡色、繊維に分解する	無	溪側、水湿地
アカンスゲ																		緑色、厚質、平滑	淡色	有	水湿斜面
エソハリスゲ																		緑色、柔らかい	栗褐色	無	溪側、水湿地
ヤチカワズスゲ																		緑色	灰褐色	無	湿地、河川
シラカワズスゲ																		灰褐色、粗状、狭い	栗褐色、無葉身、赤毛	無	湿地
ニッコウハリスゲ																		緑色、柔らかい	淡（褐）色	無	林内、湿地
タムメイスゲ																		灰粉緑色	赤色、無葉身、赤毛	有	水湿地
ヤチスゲ																		粉緑色	赤褐色~黄褐色	有	ミズゴケ湿地
ヒメカワズスゲ																		鮮緑色	褐色	無	水湿草原、湿地
マツバスゲ																		緑色	淡（褐）色	無	水湿地
ヒカゲハリスゲ																		緑色	淡（褐）色	無	林内、水湿草原
ハリガネスゲ																		緑色、少し内巻き	淡（褐）色	無	水湿地
コハリスゲ																		緑色、毛状、内巻き	淡（褐）色	無	林内水湿斜面

表 5. 溪側のスゲ

和名	高さ (cm)						葉幅 (mm)										葉の特徴	穂の色	有 枝	生育地		
	10	20	30	40	50	60	70	80	1	2	3	4	5	6	7	8					9	10
ミヤマシラスグ																			裏面粉緑色、柔らかい	淡色	有	流水中、水湿地
アズマナルコ																			緑色	肉桂色、穂が長く太く、糸毛も強い	無	溪側草地、山地
ミヤマジュズスグ																			鮮緑色	淡色後に黒色縦線に分解	有	溪側草地
アゼナルコ																			緑色	肉桂褐色、糸毛	無	溪側草地
テキリスグ																			緑色、ざらつく	濃褐色、無葉身、糸毛	無	溪側草地
アゼスグ																			粉緑色、辺縁は内曲	褐色～淡色1部葉褐色、有葉	有	溪側
サドスグ																			緑色、柔らかい	灰黄、黄褐色、葉が強い	有	山地溪間に群生
ゴウソ																			緑色	肉桂色、無葉身	有	溪側草地
ヒメゴウソ																			粉緑色	褐色、無葉身、糸毛	無	溪側草地
オオカワズスグ																			鮮緑色、柔らかい	淡色	無	溪側
ヤマアゼスグ																			緑色、辺縁は外曲	濃褐色、無葉身、糸毛	有	流水中、溪側
オタルスグ																			緑色	1部紅色、無葉身、糸毛	無	溪側草地
ヒラギススグ																			緑色、柔らかい	褐色、外側は葉身の幅は濃褐色	有	溪側の谷上や草地
タニガワスグ																			濃緑色	濃褐色、無葉身、糸毛	無	溪側、湖畔
タマウリスグ																			粉緑色	暗赤紫色	無	溪側草地
シラコスグ																			鮮緑色、柔らかい	褐色、縦線に分解	無	溪側
アカンスグ																			緑色、膜質、平滑	淡色	有	溪側草地
カンスグ																			濃緑色、硬くざらつく	暗紫褐色	無	溪側の谷上や草地
カワラスグ																			緑色	肉桂色、穂が長く太い、無葉身	有	溪側草地
ナルコスグ																			緑色、柔らかい	淡色、穂の基部の幅は濃褐色	有	溪側、溪側の谷上
ヒカガハリスグ																			緑色	淡色	無	溪側草地
コハリスグ																			緑色、葉は内巻き	淡色	無	溪側草地

表 6. 高山・亜高山のスゲ

和名	高さ (cm)							葉幅 (mm)										葉の特徴	穂の色	節 数	生育地	
	10	20	30	40	50	60	70	80	1	2	3	4	5	6	7	8	9					10
ミヤマシボソスゲ																			緑色	赤紫色、無葉身、糸毛	無	草地
キンチャクスゲ																			緑色	肉桂色、無葉身、柔らかい	無	草地
コタヌキラン																			裏面は粉白色	葉は赤褐色、葉の裏、葉の裏、葉の裏	無	谷上・草地
ホソバオゼヌマスゲ																			濃緑色、縁辺短狭	栗褐色	無	湖畔、水湿地
ミノボロスゲ																			濃緑色	淡色	無	湖畔、草地、湿地
ヒラギシスゲ																			緑色、柔らかい	褐色、外側に短く栗褐色。	有	溪側、溪側の谷上
ミヤマクロスゲ																			緑色、硬く、平滑	暗褐色、無葉身	有	乾燥草原
ヤチカワズスゲ																			鮮緑色	淡色	無	湖畔、水湿地
ショウジョウスゲ																			緑色	栗色 or 褐色の縦線に分解	無	谷上
イトキンスゲ																			淡緑色、柔らかい	淡色	有	水湿ある斜面
アカンスゲ																			緑色、膜質、平滑	淡色	有	水湿地
ホスゲ																			鮮緑色、膜質	褐色	無	草地、林縁
イワスゲ																			淡緑色	淡褐色1部葉赤褐色、やや縦線に分解	有	岩間草地
ヤチスゲ																			粉緑色	赤褐色～黄褐色	有	ミズゴケ湿地
ヒメカワズスゲ																			鮮緑色	褐色	無	水田草原、湿地
ヌイオスゲ																			緑色	濃赤紫色の縦線に分解	有	乾燥草地
キンスゲ																			緑色、やや厚い	淡褐色	無	岩間草地
ミヤマアオスゲ																			緑色	淡黄褐色	有	林内
ヒメスゲ																			濃赤色、糸毛、縦線に分解		有	草地
クモマシバスゲ																			淡緑色	淡灰褐色、縦線に分解	無	乾燥草原
コハリスゲ																			緑色、葉は内巻き	淡色	無	林内水湿斜面

おわりに

今回の結果は1年間のみの調査で、調査範囲や回数に不足があり不十分なものである。引き続き継続調査を行うことにより個々の種の分布状況を明らかにしていきたい。特に、東信地区に自生すると記載されている種で確認することの出来なかった種・変種《長野県植物誌記載では、シラコスゲ、マツバスゲ、キンスゲ、アサマスゲ、タカネマスキサ、ホスゲ、アズマナルコ、アゼナルコ、ヤマテキリスゲ、アブラシバ、ウマスゲ、オオカサスゲ、タテシナヒメスゲ、ヤチスゲ、キンチャクスゲ、ミヤマクロスゲ、ハガクレスゲ、クサスゲ、ハコネイトスゲ、ツクバスゲ、ジュズスゲ、ミタケスゲ、クジュウツリスゲ、ハタベスゲ》《佐久の植物記載では、タカネシヨウジョウスゲ（八ヶ岳高山帯）、ヤマクボスゲ（浅間山水湿地）、カルイザワツリスゲ（軽井沢植物園）（軽井沢、南相木）、マツマエスゲ〔ヒエスゲ〕（八ヶ岳、十文字峠）、タチスゲ（蓼科山麓の水湿地）、カワズスゲ（八ヶ岳、蓼科山水湿地）、エゾツリスゲ（軽井

沢、蓼科山、八ヶ岳の水湿地）、オノエスゲ（川上村の草原）、カミカワスゲ（御代田町桜ヶ丘の疎林地）、ヤガミスゲ（御代田町桜ヶ丘の草地）、チャシバスゲ（蓼科山、八ヶ岳の裸地）》の自生確認の継続調査を行ってきたい。

最後に、スゲ属の同定にあたっては、筑波大学技官路川宗夫氏に、現地調査にあたっては、花里弘氏、中山洸氏、池田登志男氏、山崎倅氏に終始指導と助言を頂いた。心から感謝の意を表します。

引用文献

- 長野県植物誌編纂委員会（1997）清水建美 監修、長野県植物誌。信濃毎日新聞社 1735pp.
- 大井次三郎（1978）日本植物誌 顕花編。至文堂 1584pp.
- 佐久教育会編（1975）信州佐久の植物。佐久教育会 516pp.
- 佐久市教育委員会（1988）佐久市の植物。佐久市教育委員会 200pp.